

平成30年度 2級水路測量技術研修

1. 研修のコース (1) 港湾級 (2) 沿岸級

2. 研修期間

研修は前期及び後期の2期に分け、港湾級は前期、沿岸級は全期間（前期・後期）とします。

前期 平成30年4月 2日（月）～4月14日（土） 12日間

後期 平成30年4月16日（月）～4月21日（土） 6日間

※ 各期とも日曜日を除く毎日9時30分～17時00分まで

（ただし、前期及び後期の最終日は9時30分～16時頃まで）

3. 研修会場 一般財団法人 日本水路協会 電話 03-5708-7076
〒144-0041 東京都大田区羽田空港1-6-6 第一綜合ビル6F

4. 募集人員 約20名（先着順）

5. 受付開始 平成30年1月15日（月）

6. 申込期限 平成30年2月23日（金）（当日消印有効）

7. 受講資格

港湾級及び沿岸級

学校教育法第1条の高等学校を卒業した者又は会長がこれと同等の資格を有すると認められた者。

8. 期末試験

前・後各期末には、期末試験があり、全科目の合格者には、該当級の修了証書が授与されます。

ただし、測量士、測量士補の有資格者に限り、基準点測量の試験が免除されます。

9. 特典

研修を修了した者は、日本水路協会認定の2級水路測量技術検定試験において、申請により一次試験（筆記）が免除されます。

10. 受講料及びテキスト

◆受講料(テキスト代を含む) (単位：円) ◆テキスト (図書) (単位：円)

受講期間	受講料 (税込)	図書名	価格	発行
前期 (12日間)	127,700	(前・後期) 水路測量関係規則集 (平成26年4月第8版)	1,330	海洋調査協会
	115,000			
後期 (6日間)	83,100	海洋調査技術マニュアル深淺測量 (平成27年10月第5版)	3,080	海洋調査協会
		水路測量 第1巻 (平成26年3月増刷版)	4,320	日本水路協会
		水路測量 第2巻 (平成26年1月増刷版)	1,620	日本水路協会
全期間 (18日間)	190,000	(後期) 水路測量 第3巻 (平成27年3月増刷版)	2,808	日本水路協会
	171,000			

(注) 受講料の各期下段の金額は、日本水路協会賛助会員又は海洋調査協会の会員に適用します。

テキストとして上記図書を使用しますが、すでにお持ちの方は受講料から図書の価格を差し引いた金額を受講料とします。(受講料には消費税が含まれています。)

全期とは、前期・後期とも同一人の場合に限りません。

11. 携行品

(1) 卓上計算機 (三角関数付) (2) 定規 (15～20 cm) (3) 筆記具、ノート

12. 申込先及び問い合わせ

別添申込書に必要な事項を記入し、下記の住所に送付するとともにEメールで申込書を送付した旨の連絡をしてください。

一般財団法人 日本水路協会 技術指導部

住所 〒144-0041 東京都大田区羽田空港 1-6-6 第一綜合ビル 6F

電話 03-5708-7076 FAX 03-5708-7075 E-mail: gijutsu@jha.jp

13. 受講料の支払方法

受講申込をした方には、当協会から連絡担当者あて申込受付メールをお送りしますので、受講料は、その後に指定の口座にお振り込みください。

研修会場



平成30年度の沿岸2級及び港湾2級水路測量技術検定試験は、平成30年6月2日(土)に東京((一財)日本水路協会・第一綜合ビル)にて実施します。また、研修受講者の願書受付は、研修修了後に開始致します。

平成30年度 2級水路測量技術研修受講申込書

一般財団法人 日本水路協会
会 長 殿

会 社 名

所 在 地 〒

代 表 者 名

印

連 絡 担 当 者 名

連 絡 所 在 地

TEL : _____

FAX : _____

E-mail : _____

平成30年度2級水路測量技術研修に下記職員を参加させたく申し込みます。

ふりがな		生年月日 (年齢)
氏 名		S H 年 月 日 (歳) 男・女
所 属 部 署		
メールアドレス		
1	最終学歴	
2	検定試験歴	
3	資 格	・測量士 ・測量士補 ・無し
4	実務経験年数	年
5	受 講 期	・前期 ・後期 ・全期間 (前期・後期)
6	協会会員	・日本水路協会の賛助会員 ・海洋調査協会の会員

- 1) 測量士又は測量士補の資格所有者は、その登録通知書又は、登録証の写しを添付してください。
- 2) 受講期に○を付けて下さい。
- 3) 日本水路協会の賛助会員、海洋調査協会の会員は○をつけてください。

☆受講料は、申込み受付後、メールによりお知らせしますので、その後の振込みとなります。

【テキスト (図書) の有無】 テキストをすでにお持ちの方は、有に○を付けてください。

使用期	図 書 名	有無	使用期	図 書 名	有無
前期	水路測量関係規則集 (平成26年4月第8版)	有・無	後期	水路測量 第3巻 (平成27年1月増刷版)	有・無
	海洋調査技術マニュアル 深浅測量 (平成27年10月第5版)	有・無			
	水路測量 第1巻 (平成26年3月増刷版)	有・無			
	水路測量 第2巻 (平成26年1月増刷版)	有・無			

平成30年度2級水路測量技術研修日程表

全期間（港湾級・沿岸級） 4月2日～4月21日（18日間、日曜を除く）

前期（港湾級・沿岸級） 4月2日～4月14日（12日間、日曜を除く）

後期（沿岸級） 4月16日～4月21日（6日間、日曜を除く）

研修時間： 午前9時30分～12時00分、午後13時00分～17時00分

研修会場： 第一総合ビル6階（一財）日本水路協会研修室

研修は前期及び後期に分け、港湾級は前期、沿岸級は全期間の受講とする。

《前期》（港湾級・沿岸級）

月日	曜日	科目	内容
4月2日	月	水路測量と海図	海図概論（地図投影概論を含む）
		水深測量（測深）	マルチビーム音響測深機と実習概要
3日	火	水深測量（測深）	サイドスキャンソナーの原理・構造・取扱い
		基準点測量	計算及び調整 高さの測定、海岸線測量、資料の作成
4日	水	水深測量（測位・測深）海上実習	マルチビーム音響測深機の儀装、機器の取扱い海上実習地（平塚）
5日	木	水深測量（測深）	マルチビーム音響測深データの解析
6日	金	水深測量（測深）	マルチビーム音響測深データの解析
7日	土	水深測量（測深）	多素子音響測深機の原理・構造・取扱い音響測深、記録の整理、資料作成
9日	月	潮汐観測	潮汐の概要、験潮所実地研修（横浜港）
10日	火	潮汐観測	観測、潮汐記録の整理
11日	水	潮汐観測	観測、潮汐記録の整理、資料作成
12日	木	水深測量（測深）	測深と基準面
13日	金	水深測量	測量資料の作成
		基準点測量	測地、測定方法、GPS/GNSSによる位置測定
14日	土	水深測量	デジタル測量成果
		修了試験	前期修了試験（1330～1600）

平成30年度2級水路測量技術研修日程表

後期（沿岸級） 4月16日～4月21日（6日間、日曜を除く）

研修時間： 午前 9時30分～12時00分、 午後13時00分～17時00分

研修会場： 第一総合ビル6階 （一財）日本水路協会研修室

《後 期》（沿岸級）

月 日	曜日	科 目	内 容
4月16日	月	海底地質調査	地学一般、海底地質概論
17日	火	地図投影	地図の投影 測地計算
18日	水	海底地質調査	音波探査機及び採泥器
19日	木	海底地質調査	音波探査記録及び採集底質の整理
20日	金	海底地質調査	海底地質構造図・底質分布図の作成
21日	土	水深測量	測量成果の作成、海底地形図（素図）の作成
		修了試験	後期修了試験（1330～1600）